

### 1

## はぐあっぷ

## 「地域の拠点づくり・潜在的リスクへのアプローチ」事業

令和5年度予算:11,121 千円

### 1. 目的

子育て世帯の身近な相談の場を確保するとともに、見守りが手薄な対象へのアプローチを行い、潜在的リスク把握と必要な支援につなげることで、虐待による死亡事案ゼロの状態を維持する。

### 2. 内容

- 地域の拠点(地域集会所等)に子育ての専門職(非常勤の保育士、看護職など)が定期的に巡回し、子育て世帯の身近な相談の場を確保する。また、こどもや子育て世帯を見守る地域ボランティア等への情報提供を通じて、地域における支援力の向上を図る
- 乳幼児健診の狭間期である2歳6か月児を対象に、全家庭への質問書送付等によるポピュレーションアプローチを実施する
- 要対協登録事例の中で特に潜在的リスクが懸念される保育所・幼稚園等の所属のないこども、特定妊婦、乳幼児健診未受診者、保育所・幼稚園等の所属はあるが状況確認が不十分なこども及び要対協登録前の段階にある事例という見守りが手薄な対象へのアプローチを行い、潜在的リスク把握と必要な支援につなげる
- 地域拠点での相談や上記対象者へのアプローチを行うなかで、必要に応じて保育所申請や療育利用手続きのサポート、ファミリーサポート事業や一時預かりの利用調整を行い、確実にかつ速やかに支援につなげることでリスクの低減を図る

### 3. 令和5年度事業

#### 指標

子育てサロンなどの利用者に対するアンケートにおいて、身近な地域で相談できる場があつて良かったと回答する人の割合 75%以上

### 4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 全12地域で地域見守り支援事務所や子育てサロンの巡回を行うとともに、8地域で子育て何でも相談会の開催など行うほか、保育所、幼稚園、つどいの広場7か所、子育て支援センター2か所についても巡回し情報交換を行っている
- 2歳6か月児に対し、質問票送付によるポピュレーションアプローチを実施中

### 5. 令和6年度の方向性

- 支援が必要であるが支援に結び付きにくいこどもや家庭が存在することから、地域と情報共有し、必要な支援につなげる取組を継続して実施する
- 2歳6か月は、成長発達が著しく、第1次反抗期を迎えることから、保護者も子育てについての悩み・葛藤が生じやすい時期であることから、アンケート送付、フォローを継続して実施する

# 2

## 住吉区版「重大な虐待ゼロ」に向けた地域・医療連携ネットワーク事業

令和5年度予算:41 千円

### 1. 目的

医療機関との連携のもと、「住吉区版重大な虐待ゼロに向けた地域・医療連携ネットワーク(仮称)」を構築し、虐待による死亡事案ゼロの状態を維持する。

### 2. 内容

- 乳幼児健診時、2歳6か月児のポピュレーションアプローチ時に個々のこどものかかりつけ医の情報を把握する
- 区医師会等の協力を得て、年 1 回程度、区内小児科医療機関等に地区担当保健師が訪問するとともに、交流会を開催し、連携体制を推進する

### 3. 令和5年度事業

#### 指標

区内の小児科医療機関へのアンケートにおいて、本事業が児童虐待の早期発見・対応に繋がっていると回答した割合:80%以上

### 4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 乳幼児健診時、2歳6か月児のポピュレーションアプローチ時に、個々のこどものかかりつけ医の把握を継続実施中
- 令和5年11月16日、区内小児科医師と区保健福祉センターとの交流会を開催

### 5. 令和6年度の方針

- 乳幼児健診時、2歳6か月児のポピュレーションアプローチ時に、個々のこどものかかりつけ医の把握を継続実施する
- 医療機関との連携のもと、医療機関との顔の見える関係づくりに向け、地域担当保健師の医療機関への訪問等を引き続き実施する

### 3

## すみちゃんまちぐるみ「こども安心」見守り事業

令和5年度予算:349 千円

### 1. 目的

- こども・子育て世帯にかかわる区内関係機関や地域団体等の関係者が幅広く連携し、支援を要するこどもや子育て世帯に早期に気づいて必要な支援につなげる
- 地域をあげて、まちぐるみでこども・子育て世帯の安全・安心を見守る全区民的な機運を醸成することにより、子育て世帯の不安や孤立の解消を図り、虐待を防止することで、こどもたちが希望をもって健やかに成長し、子育て世帯が安心と喜びを実感しながら子育てできるまちづくりをめざす

### 2. 内容

- こどもや子育て世帯を見守り、支援を要するこどもや子育て世帯に早期に気づき、必要な支援先につなげていくといった取り組みの趣旨、見守り支援の心得、見立ての仕方や関係機関の連絡先等を記したハンドブックを作成する
- 区内の関係機関や地域団体等の関係者が、子育ての現状を認識し、気づきや発見、見立てへ理解を深められるような研修会・講演会などの機会を提供する

### 3. 令和5年度事業

#### 指標

研修受講後のアンケートにおける見守りの必要性の理解度75%

### 4. 現在の状況(令和5年10月末現在)

- 区内の関係機関や地域団体等の関係者等を対象に、令和5年9月28日にテーマを「“気づきで救おう”虐待のサインと対応のポイント」としてスキルアップ研修会を実施。年度内に継続したテーマで第2回の研修会を実施予定
- 地域の支援者が、気になる子どもや家庭を支援につなげるために活用できるような子育て相談室をはじめ各種相談窓口を紹介するリーフレット等を作成し、区内の関係機関や地域団体等の関係者に配付していく

### 5. 令和6年度の方向性

事業を再編し、児童虐待防止事業として、引き続き、区内の関係機関や地域団体等の関係者を対象に、支援の必要なこどもや子育て世帯への理解と支援等についての研修会の開催やリーフレット等の作成配付を行っていく。